

名称 2-C T-7

他名等 4-エチルチオ-2,5-ジメトキシフェネチルアミン

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

一般的に使用されている 2C-T-7 に名称を変更するべきではないか。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分であり、麻薬に指定される予定である。

名称 GHB

他名等 ガンマヒドロキシ酪酸

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: -

すでに麻薬に指定されており、リストから削除すべきである。

名称 GBL

他名等 ガンマブチロラクトン

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データー (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分である。

名称 シクロフェニール

他名等 英名 cyclofenil (JAN)

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

排卵誘発剤セキシビット(Sexovid)の成分である。

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

医薬品の一般名はシクロフェニールである

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

指定医薬品、要指示医薬品である。

評価 : A

医療用の排卵誘発剤である。

名称 臭化水素酸デキストロメトルファン

他名等 英名 Dextromethorphan Hydrobromide

備考

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載

多数の医療用製剤がある。

毒性データー (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等 中枢作用薬である。

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

麻薬様の依存性はないといわれるが、米国 FDA は、デキストロメトルファンの乱用により 5 人の若者が死亡した事例を検討し、その乱用に警告する文書(トーク・ペーパー)を出している。日本においても、乱用薬物（違法ドラッグ）市場で検出されることがある。

MAO 阻害剤との併用禁忌あり。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

劇薬、指定医薬品である。

評価：A

医療用の中枢性鎮咳薬である。

名称 スルフォンアミド

他名等 英名 sulfamide

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

抗菌性化学療法剤であり、多くのスルフォンアミド誘導体 (サルファ剤) が存在する。スルフォンアミド類と名称を変更することが適切である。

名称 タイシャセキ

他名等 英名 hematite (赤鉄鉱)

備考 鉱石

生薬名 代赭石 Fe_2O_3 を主成分とする天然の赤鉄鉱の塊。時に Ti, Mg, Al, Si を含む (難波和漢薬)。赤鉄鉱の一種 (赤松和漢薬)、酸化物類の鉱物、赤鉄鉱 (中薬大辞典)。

鉄鉱石は赤鉄鉱と褐鉄鉱があるが、日本では赤鉄鉱を高炉に使用している。

三方晶系の赤鉄鉱 $\text{Fe}_2\text{O}_3 \cdot \text{SiO}_2$

医薬品として使用実態があるか Yes ウチダ旋覆花代赭石湯 (センブクカタイシャセキトウ) に配合されている。配合 (旋覆花、大棗、代赭石、甘草、人参、半夏、生姜)

中薬大辞典に以下のような内容で記載されている。

代赭石 (Hematite) は BaSO_4 の代わりに X 線の造影剤として使用することができる。しかし無毒だと思われていたが、代赭石 (Hematite) には 1/10 万以上の塩化ヒ素が含まれていた。これは BaSO_4 に含まれている量をはるかに超えており、薬典の許可標準値よりも高い。マウスに毎日 2g ずつ飲ませると 7 日間で死亡率が 100% に達する。死ぬ前には動きが鈍くなり筋肉に力がなくなって、間発性痙攣も起こる。最後は供済 (代謝) の崩れ、または半身不随によって呼吸が遅くなって死亡する。ウサギに毎日 5g ずつ飲ませると大部分は 1 2 日間で死亡し、一部分は 1 4 日間で死亡する。中毒症状はマウスと似ている。解剖すると肺と腸の粘膜に充血があり、肝臓の表面は部分的に壊死している。麻酔したウサギに代赭石 (Hematite) の溶液を注射すると血圧にはほぼ影響はなかったが、腸の蠕動が活発化した。摘出したモルモットの腸には興奮作用が見られ、また摘出した蛙の心臓には強い抑制作用が見られた。

毒性データ (LD50 等) RTECS なし

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

ヒ素化合物を含む 塩化砒素：ラット経口 LD_{50} : 48mg/kg、(毒薬相当) ラット皮膚 LD_{50} : 80mg/kg (RTECS)

ただし、赤松和漢薬には無毒の記載

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか

主要な二次代謝産物等

Fe_2O_3 51.52%, SiO_2 40.25%, Al_2O_3 5.46%, CaO 1.99%, H_2O 1.16% (難波和漢薬)

主要な生理活性

代赭石中にはヒ素化合物を微量含み、少量の代赭石を長期間マウスに投与するとヒ素中毒の現象をおこす。 Fe_2O_3 は、腸粘膜に対し一定の刺激作用がある。補血、収斂、止血、鎮静、鎮吐薬 (難波和漢薬)

(ウチダ旋覆花代赭石湯の効能効果は、胃部がつかえて硬く、胸やけ、不快なゲップ、嘔吐、腹痛などがあり、便秘又は下痢をしているもので、衰弱しているもの：胃酸過多症、胃拡張症、胃腸カタル、胃アトニー症、胃下垂症)

重要文献

その他注意すべき点 CA12 件ヒットだが、めぼしいものはなし。

赤鉄鉱機能食品研究所 命運堂という名前で、ブラジル産の赤鉄鉱を霊芝菌糸体と混ぜたものを免疫療法と称して売っている。中薬で赤鉄鉱を使用する場合にはタイシャセキと呼ぶが、鉱物学的には赤鉄鉱（ヘマタイト）と考えられるので、タイシャセキの他名等を赤鉄鉱とすべきでは。

Botanical Safety Handbook なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか（情報がある場合のみ）

評価：A

ヒ素化合物を含む場合があり、安全性に十分な配慮が必要である。

名称 タウリン

他名等 英名 Taurine (局方英名, INN 英名)、アミノエチルスルホン酸 (局方別名, JAN)

備考

化学名 2-aminoethanesulfonic acid (C₂H₇NO₃S)

構造式 NH₂CH₂CH₂SO₃H

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載予定 USP 収載

医療用 高ビリルビン血症 (閉塞性黄疸を除く) における肝機能の改善 うっ血性心不全 1回 1g 1日 3回 OTC タウリン座薬 内外痔核 リゲイン 3g/100mL、リポビタンシリーズ 1~2g/100mL、チオビタドリンク 1g/100mL、エスカップ 1g/100mL

毒性データ (LD50 等) LD50 oral rat >5g/kg (RTECS)

医療用再評価痔 副作用 2.82% 主症状 嘔気、下痢

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

うっ血性心不全に経口摂取で有効性が示唆 (Azuma, J. *et al.*, *Clin Cardiol.* 1985 May;8(5):276-82, 阪大医)。タウリンは左心室の働きを高め、ニューヨーク心臓協会によるクラス II から IV の心不全の症状を改善する ((Azuma, J. *et al.*, *Jpn Circ J.* 1992 Jan;56(1):95-9.) (Azuma, J., *Adv Exp Med Biol.* 1994;359:425-33)(Azuma, J., *et al.*, *Clin Ther.* 1983;5(4):398-408.)。タウリン摂取 4~8 週間で重篤な心疾患 (クラス IV) がクラス II に改善した患者もいた (Azuma, J., *et al.*, *Prog Clin Biol Res.* 1983;125:61-72) (Azuma, J., *et al.*, *Int J Cardiol.* 1982;2(2):303-4)

経口摂取で急性肝炎患者の肝機能を改善した (Matsuyama, Y., *et al.*, *Prog Clin Biol Res.* 1983;125:461-8)。

重要文献

食品中の量 (100g wet weight 中) マダラ血合肉 229mg、普通肉 77mg、鯖血合肉 973mg、普通肉 26mg、牛ひれ肉 42mg、ロース 20mg (独) 九州沖縄農業研

<http://kumamoto.lin.go.jp/summary/akakenkyu2/02.html>

生いか 300-1200mg 全国いか加工共同組合 <http://www.zen-ika.com/index.html>

タコ 500mg 北海道立食品加工研究センター <http://www.foodhokkaido.gr.jp/faqs/faq013.html>

その他注意すべき点

健康栄養研究所素材データベース概要：タウリンは、魚介類に多く含まれる含硫アミノ酸で、ヒトでは心筋、筋肉、脾臓、脳、肺、骨髄などに存在している。俗に「血中脂質を改善する」「肝機能を高める」「血圧を下げる」といわれており、うっ血性心不全および肝炎に対して有効性が示唆されている。安全性については、適切に経口摂取する場合は安全性が示唆されている。妊娠中・授乳中の安全性については信頼できる十分なデータがないため使用を避ける。

Botanical Safety Handbook 記載なし

Com E 記載なし

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価

国内外を含め医薬品として広く用いられている。他方、経口での安全性は特に問題があるとは考えられない。

名称 DHEA

他名等 デヒドロエピアンドロステロン

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

男性ホルモン的一种である。

名称 1-デオキシノジリマイシン

他名等

備考

1- deoxynojirimycin, moranoline (ref. 1), S-GI (ref. 5)

CAS No. 19130-96-2

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

LD50 >5g/kg (rat, oral)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

水溶性含窒素糖類

麻薬、向精神薬及び覚醒剤様作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

(総説)

Deoxynojirimycin: Synthesis and Biological Activity, A. B. Hughes, A. J. Rudge, , *Nat. Prod. Rep.*, 11, 136-162 (1994).

(単離報告)

(1) (*Morus* spp.) Yagi, M., *et al.*, 日本農芸化学会誌, 50, 571(1976).

(2) (*Morus bombycis* Koidz) Daigo, K., *et al.*, *Chem. Pharm. Bull.*, 34, 2243(1986).

(3) (*Jacobinia suberecta*) Matsumura, S., *et al.*, *Jpn. Kokai Tokkyo Koho* (1980), 2 pp. CODEN: JKXXAF JP 55027136 19800227 Showa. Application: JP 78-99208 19780814. Priority: CAN 93:66581 AN 1980:466581

(4) (*Bacillus amyloliquifaciens*) Frommer, W., *et al.*, *Ger. Offen.* (1979), 46 pp. CODEN: GWXXBX DE 2726899 19790412 Application: DE 77-2726899 19770615.

(5) (*Streptomyces lavendulae trehalosaticus*) Murao, S., *et al.*, *Agr. Biol. Chem.*, 44, 219(1980).

(6) (*Streptomyces lavendulae*) Ezure, Y., *et al.*, *Agr. Biol. Chem.*, 49, 1119(1985).

(7) (*Morus nigra*) Evans, S. V. *et al.*, *Phytochemistry*, 24, 1953(1985).

(8) (*Streptomyces subutilus*) Hardick, D. J., *et al.*, *Tetrahedron*, 48, 6285 (1992).

(生物活性)

(1) (Inhibition of N-linked complex oligosaccharide formation by 1-deoxynojirimycin, an inhibitor of processing glucosidases) Saunier B., *et al.*, *J. Biol. Chem.*, 257, 14155 (1982).

その他注意すべき点

ダイエット、糖尿病予防を謳い、健康食品としての桑の利用が多数あるので注意が必要である。

Safety (Natural medicines comprehensive database, P. 160, Black Mulberry)

There is insufficient reliable information available about the safety of black mulberry.

Pregnancy and Lactation: Insufficient reliable information available; avoid using.

Botanical Safety Handbook 1-deoxynojirimycin を成分として含むマグワ (*Morus alba* L.) は class 1 (P. 77)

The Complete German Commission E Monographs 無記載

評価：E

直接医薬品として使用されているわけではないが、一定レベルの安全性データがある。尚、ノジリマイシンは放線菌から単離された抗生物質である。

名称 TMA-2

他名等

備考 TMA (3,4,5-Trimethoxyamphetamine) は麻薬

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

TMA-2 (2,4,5-Trimethoxyamphetamine) 及び TMA-6 (2,4,6-Trimethoxyamphetamine) は、麻薬である TMA の異性体であり、日本においても違法ドラッグ市場で検出される。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分であり、麻薬に指定される予定である。

名称 ニコチン

他名等 英名 nicotine

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

毒性データ (LD50 等)

LD50 mice i.v. 0.3mg/kg、orally 230mg/kg (Merck)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか Yes

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価：A

劇薬相当のアルカロイドである。

名称 パパイン

他名等 英名 papain

備考 パパイア、パイナップル加工品は「非医」

医薬品として使用実態があるか

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの（類似化合物も含む）及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

消化酵素である。

名称 パンクレアチン

他名等 英名 pancreatin

備考

医薬品として使用実態があるか Yes 局方収載

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか No

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

温血動物の膵臓から分泌される膵液中の酵素の混合物 (重要なものは、 α -アミラーゼ、トリプシン、リパーゼ) である。

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

消化酵素である。

名称 B Z P

他名等 1-ベンジルピペラジン、N-ベンジルピペラジン

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価：－

すでに麻薬に指定されており、リストから削除すべきである。

名称 BD

他名等 1,4-ブタンジオール

備考

医薬品として使用実態があるか No

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか Yes

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価: A

違法ドラッグ (いわゆる脱法ドラッグ) 成分である。

名称 BDD

他名等 ジメチル-4,4'-ジメトキシ-5,6,5',6'-ジメチレンジオキシビフェニル-2,2'-ジカルボキシレート

備考

医薬品として使用実態があるか Yes

毒性データ (LD50 等)

アルカロイド、毒性タンパク、毒薬劇薬指定成分等を含むか

含む場合その化合物は

麻薬、向精神薬及び覚醒剤作用があるもの (類似化合物も含む) 及びその原料植物であるか No

対象化合物等

主要な二次代謝産物等

主要な生理活性

重要文献

その他注意すべき点

Botanical Safety Handbook

指定医薬品または要指示医薬品に相当する成分を含むか (情報がある場合のみ)

評価 : A

中国で医薬品としての使用実績があり、リバウンド等、使用の際の副作用が報告されている。